

日本臨床検査専門医会

2019 年度第一回全国幹事会議事録

2019 年 5 月 31 日

# 日本臨床検査専門医会 2019年度 第一回全国幹事会議事録

開催日時：2019年5月31日(金曜日)13:00~14:20

開催場所：広島県医師会館3階301会議室

出席者：登勉会長、佐藤尚武、谷直人 各副会長、東田修二庶務・会計幹事、五十嵐岳、東條尚子、古川泰司、宮崎彩子、盛田俊介、米川修 各常任幹事、藤井聡、植木重治、久川聡、増田亜希子、松下一之、伊藤弘康、木村秀樹、中村文彦、日高洋、長井篤、横崎典哉、橋口照人、松井啓隆 各全国幹事、土屋達行 監事

欠席者：浅井さとみ、大澤春彦 各全国幹事、佐守友博 監事

事務局：市川綾子

(敬称略)

定刻、登勉会長挨拶の後、議長として登勉会長を満場一致で選任した。議長は議長席につき開会を宣した。

## [審議事項]

### 第1号議案 議事録署名人選任について

議長は、本会の議事録署名人の選出を議場に諮り、下記の2名を議事録署名人として満場一致で選任した。

議事録署名人：日高洋 全国幹事、松下一之 全国幹事

## [報告事項]

### 1. 第29回日本臨床検査専門医会春季大会について

横崎典哉 大会長より、検査部のソフトウェアの update になるよう企画し、また講習のすべてが専門医更新単位となっている、と紹介があった。先生方のご協力に感謝する旨挨拶があった。

### 2. 第30回日本臨床検査専門医会春季大会について

橋口照人 大会長より、以下の報告があった。

2020年の春季大会は、5月15、16日の日程で鹿児島で開催、案内チラシを作成したので、明日の総会時にも紹介したい。テーマは「次世代バイオマーカーへの挑戦」とした。昨今いろいろな分子生物学的な手法も進んでおり、何か新しい側面を学べるような会にしたい。多くの先生方に鹿児島での大会に参加していただきたい。

### 3. 各種委員会報告

#### ①情報・出版委員会

盛田 俊介委員長より、以下の報告があった。

- ・2018年版要覧:今年の2月に発行。
- ・月間ラボ:専門医のコーナーについては、2019年4月から2年間のテーマ・執筆者も決まり、順調に進んでいる。
- ・JACLaP NEWS:133号を3月に発刊済。
- ・Lab CP:37巻第1号の発刊準備が進んでいる。
- ・JACLaP WIRE:4月に217号が発行され、現在218号準備中。

また、専門医会HPのリニューアルに関連して既存のHPの中に収納されている機関紙、刊行物の内容をどこまで新しいHPに移行するかを打ち合わせていく必要がある旨の発言があった。

#### ②教育研修委員会

米川 修委員長より、以下のとおり報告があった。

##### 1) 第30回日本臨床検査専門医会春季大会(広島:横崎 典哉大会長)

生涯教育講演会専門医講習(感染管理・医療倫理)は明日6月1日(土)、以下の内容で開催予定。それぞれ、日本専門医機構認定 基本領域 臨床検査専門医更新のための「共通講習(感染対策)1単位」、「共通講習(医療倫理)1単位」に認定されている。

講演1. 感染症診療における検査室の重要性

大毛 宏喜先生(広島大学病院 感染症科)

講演2. 残余検体を扱う研究、進んでいますか?—既存試料使用の倫理指針—

通山 薫先生(川崎医科大学検査診断学)

司会:高城 一郎先生、米川 修先生

##### 2) 第87回日本臨床検査専門医会教育セミナー

昨年、一昨年と同様に、帝京大学の古川先生の協力により5月19日(日)に霞が関キャンパスにて開催し、無事終了。

今回は広報委員会五十嵐先生の尽力で、53名(応募55名)と参加者が増え、2教室を使用した。大学6年生の受講生もいたが、興味を持ってくれる医学生に対する教育、というのは分けて考えるべきとも思う。その点は次の教育研修委員会の先生にお任せしたい。

##### 3) 日本臨床検査医学会との共催シンポジウム(第66回日本臨床検査医学会学術集会)

会場:岡山コンベンションセンター・岡山シティミュージアム

日程:未定(11月21~24日の学術集會会期中に開催)

テーマ「他の領域から検査に移って 専門性を活かした新たな挑戦

—検査医学への貢献, 検査医学に欠けているもの, 望むもの—

## シンポジスト

横崎典哉先生(広島大学 検査部)

涌井昌俊先生(慶應大学 臨床検査医学)

石井潤一先生(藤田医科大学 臨床検査科)

木村秀樹先生(福井大学医学部附属病院検査部)

### 臨床検査領域からの発言

細川直登先生(亀田総合病院)

司会:山崎正晴先生(奈良県立医科大学附属病院中央臨床検査部),

米川 修(聖隷浜松病院 臨床検査科)

他の領域から移ってきた先生方が自分の専門を生かしてどう検査専門医学に貢献しているか、また臨床検査医学に欠けているものの指摘や、望むことを語っていただきたい。もとから臨床検査医学にいる医師の発言もお願いした。

## ③資格審査・会則改定委員会

東條 尚子委員長より、今年度今までに18人の新規の方の入会を承認した、と報告があった。

登会長より、高齢になって退会する方がいるが、75歳以上で終身会員にするとどの程度収入に影響するか一度試算して検討みてはどうか、と発言があった。

## ④渉外委員会

×谷 直人委員長より、以下のとおり報告があった。

第36回振興セミナーは7月19日(金)午後1時55分より東京ガーデンパレスで開催、前半は、五十嵐委員から紹介いただいた三谷弁護士に1時間講演いただく。後半はシンポジウムで、「医療法の一部改正について」をテーマに、本会横崎医師、日本衛生検査所協会金村参与、東邦大学横田教授の3氏に講演いただいた後、総合討論の予定。  
会費は昨年の1,000円から見直して2,000円とした。

## ⑤広報委員会

五十嵐 岳委員長より、以下の報告があった。

- 1)レジデントノートの連載: レジデントノートは3年目を迎えた。他の連載との差別化も考えたい。  
臨床と検査をつなげるような原稿を中心に掲載していきたい。
- 2)ハンズオンセミナー: 医学会のワークライフバランスとの合同企画。  
毎年東京大学で8月に開催、昨年は12名の初期臨床医の方が参加、その中から臨床検査を専攻する人も出ている。
- 3)ワークショップ: 岡山での学術集会時に開催。例年同様ポスター発表。前半にRCPCを通

して臨床検査の面白さを知ってもらう企画を予定している(医学部の 5,6 年生対象, 初期臨床研修医も対象)。

- 4) 霞が関子ども見学デー: 振興協議会の広報との合同企画。検査がどのようなものなのか知ってもらう活動, 昨年は親子を中心に約 450 人が参加。
- 5) ラインスタンプ: 振興協議会の広報との合同企画。2 月にデザインが完成した。形はできているが登録に時間がかかっている。
- 6) 専門医会ホームページのリニューアル  
複数業者からの見積りを検討し, 依頼する業者を選定。4月に権利関連の確認, 5月より制作を開始。機関紙・刊行物を、そのまますべて移すと費用がかかる。移す内容の検討が必要。  
ホームページは秋頃リニューアル予定。
- 7) 教育セミナーの PR: レジデントノートと Facebook で広報した。
- 8) RCPC 勉強会に関して: 11 月学術集会時の学生 RCPC につなげたいと考えている。
  - ・KeMA(関東の医学部の勉強サークル)との勉強会: 5/25 に検査のやり方について学生主体の勉強会, 五十嵐先生参加。16 校, 41 名の 5,6 年生が参加。
  - ・6/22 同様の企画を京都府立医大で開催予定, 現在 34 名がエントリーしている。

ハンズオンセミナーに関しては増田全国幹幹事から以下の通り, 補足があった。

当初, 医学生・医師となっていたが, 去年あたりから研修医に絞っていることもあり, 今回から「医学生・研修医のための臨床検査ハンズオンセミナー」とタイトルを変更した。

今年は 8/18 に開催予定, 医学部 5,6 年生と初期研修医が対象, 腹部エコーは五十嵐先生にお願いする。昨年一昨年は直前募集になってしまったので今年は早めに準備を進めている。6 月以降 QR コードでエントリー可能, 一般向けには 6 月中旬から臨床検査医学会ホームページで募集開始する。

少人数制なので, ぜひ興味のある方に参加いただき, 専攻医のプログラムへの応募を一人でも増やしたい。RCPC は大勢の方を対象にすそ野を広げるような活動で, こちらは興味のある人に対して後押しとなるような企画と考えている。

## ⑥保険点数委員会

古川 泰司委員長より, 以下の報告があった。

### ・2020 年度社会保険診療報酬改定提案書について

この1月から3月は内保連への提案書作成, 専門医会分は松下一之先生に全面的にお願いし, 11 項目の提案を 4 月には内保連に提出, その後, 内保連側から記入方法の添削があり, やっと受理してもらったところである。内保連と外保連で提案の齟齬がないかをすり合わせ, その後, 内保連の検査関連委員会のヒアリングが 5 月 13 日にあった。東條先生に参加いただいた。今後, 厚労省のヒアリングに向けて提案の選別と日取りの決定, その後

中医協へという予定である。臨床検査医学会は 25 の提案をした。

- ・5/14 に振興協議会と厚労省の勉強会があり、検査関連の提案に関して厚労省側に説明する機会があった。コスト調査を大規模に行い、その点について詳しく厚労省の技官にも説明した。

その他、登会長からの指名で、松下一之全国幹事よりがんパネル検査が保険収載された点について以下の説明があった。

がんゲノムのデータベースを作るということだが、医療法が改正され、ゲノムデータをどのような形で検体検査部門の責任者・担当者が管理するかということが固まっていない、ということが問題である。中医協の説明書の中には生データを管理ということが明記されているが、検体検査部門がどのように病院として管理して保管するのか、患者から要望でそのデータを渡す、という場合には、どこがそのコストを負担してファイルサイズの大きなデジタルデータをやりとりすることになるのか、現場の混乱を招くことになる。

登会長より、がんパネル検査の検査実施料、判断説明料の比重もすっきりしていない部分があると発言があった。

#### ⑦ネットワークシステム委員会

宮崎 彩子委員長より以下の報告があった。

- ・ネットワークシステムの広報活動の一環として JACLaP WIRE の最後のところにネットワークシステムの活用を促す宣伝文を毎号入れてもらうことになり、前回分から掲載されている。学術集会の後などにはネットワークシステムの Q & A に質問がいくつか出るが、そのあとがなかなか続かなくなってしまう。宣伝文以外に何かよい案があれば教えていただきたい。
- ・HP の刷新にともなって、ネットワークシステムもそちらに移動する予定。Q & A の膨大なデータを会員がログインして入るページに移し、会員特典の一つとしたい。かなりのボリュームなので、具体的にどうするかはこれから業者と相談が必要である。

#### 4. 「全国検査と健康展」について

※ 谷 直人担当副会長より以下の報告があった。

昨年は東京が中央会場、各地方会場も先生方のご協力で好評のうちに終わることができた。例年初夏に技師会より共催依頼があり、動き始める。今年の中央会場は秋田県で、昨年すでに秋田技師会の方々とは面談を済ませている。秋田の植木全国幹事はじめ先生方には各会場へのご協力をお願いしたい。

## 5. 第 54 回日本臨床検査専門医会総会における講演会について

登会長より、以下の報告があった。

2月の常任幹事会で方向が決まったが、検査医学教育に関するアンケート調査のまとめを、臨床検査専門医がどうあるべきかということも含めて考察したものを講演として話をさせていただきたい。診療報酬のところで明確に我々の役割が位置づけられることが望ましいと考えるが、今回のがんゲノム医療の中でも残念ながらシステムの中のどこにも検査医とか検査専門医は出てこなかった。講演のタイトルはいずれプログラムの中で発表する。

## 6. その他

登会長より、以下の報告があった。

会員から、検体検査管理加算4の不正請求があとを絶たない、専任医師の条件が残念ながら病理診断医、放射線診断医とは違って、臨床検査室で勤務している医師であれば、誰でもいいということになっている。やはり検体検査管理加算4をとる医師は検査医であるべきだ。診療報酬改定のところで提案をお願いしたい、という意見提出があった。

三役会での議論では、まずは、各都道府県で検体管理加算3または4の施設申請しているところの資格要件、どんな専門の方がなっているのか、ということを開示請求したらどうか、ということになった。臨床検査専門医会として、各都道府県健康福祉部宛に開示請求をしたい、と考えている。

## [審議事項]

### 第2号議案 平成30年度決算報告

議長は、東田 修二庶務会計幹事に平成30年度会計決算について説明させた。

- ・収入では全体の8パーセント程度未納の会員がいる。また、振興セミナー参加費は昨年1000円に値下げしたため収入が減った。今年はまた企業の方の参加費は見直す予定。
- ・支出は概ね例年通りであった。収支決算としては84万円の黒字、これは今年度への繰越金となっている。

土屋 達行監事より、佐守 友博監事とともに収支決算書、会計書帳簿、領収書、各口座の残高につき詳細な監査を行い、適切に運営されていることを確認したことが報告された。

本件について議場に諮ったところ、満場一致で承認された。なお、決算および収支報告書については資料1として本議事録章末に掲載する。

### 第3号議案 2019年度補正予算について

議長は、東田 修二庶務会計幹事に2019年度補正予算について説明させた。

資料2の中列は昨年11月に全国幹事会・総会で報告した本年度の予算だが、それ以降、専門医会のHPを新たに立ち上げて、そちらに移設する、という費用が発生した。事業経費としてHP開発費、移設費用を含め約180万円の支出が出る見込みとなり、183万円ほど赤字が出る予算となる。数年に一度はこのような支出が出ることもあり、具体的には資産推移をみると平成27年度もネットワークシステムの立ち上げで66万円の赤字となっている。

登会長より、今回の場合、HPを会の顔として見栄えがいいものにし、情報をタイムリーにアップデートしていくようにしたい、ということで、広報委員会の方で業者についても選定し、常任幹事会でも承認いただき、契約を結んで事業としても進めている、と発言があった。

増田全国幹事より、広報委員会内での相談はなかったが、複数業者への見積もり、年間のランニングコスト、サーバー、ドメインのコストはどうなっているのか質問があった。

五十嵐岳広報委員長より、2社に大まかな予算を出してもらったところ、契約した業者の方が低予算だったので、そちらを紹介した。月々25,000円程度で情報のアップデート、OSのトラブル対応をもらう予定である、また、サーバー使用料等で5000円程度予定している、と説明があった。

土屋監事より、赤字予算ではなく、繰越金からの補填という形をとったほうがよいのではないかと質問があった。東田庶務会計幹事より、特別枠としてしまうと、2019年において収入より支出が多かったという事実が残らないので、記録としてきちんと残したほうがよいと考えたと説明があった。

宮崎ネットワーク運営委員長より、平成27年の赤字のときも指摘があったが、大きな事業をするときには特別会計にして、そちらから出したほうがよいのではないかと発言があった。

東田庶務会計幹事より、そういう考え方と、実際は収入より支出が多かったわけなので本会においてはきちんとこの年は支出が多かった、その分貯金が目減りした、ということがわかったほうがよい旨発言があった。

本件について議場に諮ったところ、満場一致で承認された。2019年度補正予算書は資料2として本議事録章末に掲載する。

### 第4号議案 2019年度会長・監事選挙について

議長は、増田亜希子選挙管理委員長に2019年度会長・監事選挙について説明させた。

2月17日に第1回選挙管理委員会が開催され、会長・監事選挙規程ならびに投票要領を確認した。選挙の対象は会長1名、監事1名（土屋監事の任期は残り2年）、選挙人は

正会員、選挙管理委員会メンバーは委員長ほか浅井さとみ委員、金子誠委員、松下弘道委員、オブザーバーとして東田修二庶務会計幹事。選挙方法は8月に郵便による投票で実施、会長は有効投票数の過半数をもって選出、監事は上位1名、次点1名を選出、今後の日程は以下のとおり。

- ① 6月1日（日） 総会で承認を得る
- ② 6月4日（火） 選挙の予告を出す
- ③ 6月17日（月） 推薦・立候補手続き開始（公示開始）
- ④ 7月8日（月） 推薦・立候補締め切り（公示終了）
  
- ⑤ 7月22日（月） 会長所信表明締め切り
- ⑥ 8月5日（月） 投票開始（投票用紙発送予定）
- ⑦ 8月31日（土） 投票締め切り（消印有効）
- ⑧ 9月7日（土） 第2回選挙管理委員会 開票作業
- ⑨ 9月10日（火） HP上に結果を掲載
- ⑩ 11月21日（木） 第2回全国幹事会ならびに総会で報告する

本件について議場に諮ったところ、満場一致で承認された。

#### 第5号議案 2年後の春季大会について

議長より、2年後の春季大会長について、新しい執行部にお任せすべきところではあるが、準備の都合上、三役会では2年後の春季大会長に秋田大学の植木重治先生を推薦したい旨の提案があり、満場一致で承認された。

植木全国幹事より、職位として、上司に確認をとってから正式にお受けしたい旨の発言があった。

以上をもって全議案の審議並びに報告を終了したので、議長は閉会を宣し解散した。

議事録署名人

2019年 8月 14日

日高 洋

---

2019年 8月 23日

松下 一之

---

## 平成30年度 決算報告

		項 目	平成30年度予算額	平成30年度決算額	予算と決算の差
収入欄	会費	会員会費	6,535,000	6,010,000	-525,000
		賛助会員会費・寄付金	3,700,000	3,500,000	-200,000
		小 計	10,235,000	9,510,000	-725,000
	その他入金	広告収入	400,000	250,743	-149,257
		教育セミナー参加費	400,000	440,000	40,000
		生涯教育講演会参加費	150,000	216,000	66,000
		振興セミナー参加費	100,000	54,000	-46,000
		利息	3,000	865	-2,135
		小 計	1,053,000	961,608	-91,392
	入金合計		11,288,000	10,471,608	-816,392
支出欄	庶務経費	事務所維持費	1,700,000	1,733,736	-33,736
		人件費	1,650,000	1,535,650	114,350
		設備費	50,000	27,664	22,336
		電話・FAX使用料	60,000	53,992	6,008
		通信費(事務局)	170,000	151,851	18,149
		事務局雑費	150,000	141,402	8,598
		小 計	3,780,000	3,644,295	135,705
	事業経費	印刷代	2,000,000	1,282,846	717,154
		要覧印刷代	500,000	500,000	0
		通信費	800,000	435,623	364,377
		春季大会補助金	500,000	500,000	0
		臨床検査振興セミナー費	850,000	850,306	-306
		教育セミナー費	650,000	677,463	-27,463
		会議費	1,000,000	876,613	123,387
		交通費	100,000	27,840	72,160
		宿泊費	30,000	13,148	16,852
		原稿料	50,000	0	50,000
		専門医会ネットワーク維持費	100,000	100,000	0
		HP維持費	170,000	142,659	27,341
		広報活動費(委員会HP)	50,000	27,000	23,000
		JCCLS会費	50,000	50,000	0
		WASPALM会費	55,000	0	55,000
		臨床検査振興協議会	300,000	300,000	0
		内保連	200,000	200,000	0
		予備費	103,000	0	103,000
		小 計	7,508,000	5,983,498	1,524,502
		出 金 合 計		11,288,000	9,627,793
収 支 決 算			0	843,815	843,815
前年度繰越金+定期預金				29,116,855	
次年度繰越金+定期預金				29,960,670	

日本臨床検査専門医会 平成30年度決算報告書  
(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

平成30年12月31日現在

【一般会計】

収入 詳細は会計帳簿記載	入金	10,471,608	29,588,463
	前年度繰越金	19,116,855	
支出 詳細は会計帳簿記載	庶務経費	3,644,295	9,627,793
	事業経費	5,983,498	
収支および次年度繰越金			19,960,670

次年度繰越金	ゆうちょ銀行振替口座 残高証明書 別紙	18,681,960	19,960,670
	三菱東京UFJ銀行口座 残高証明書 別紙	1,361,204	
	現金	-82,494	

【特別会計】

定期預金	三菱東京UFJ銀行口座 残高証明書 別紙	10,000,000
------	-------------------------	------------

【残高合計】

次年度繰越金＋定期預金	29,960,670
-------------	------------

平成31年1月17日

庶務・会計幹事 東田 修二 

平成30年度日本臨床検査専門医会収支報告は、監査の結果、上記に相違ないことを認めます。

平成31年1月17日

監事 佐野 友博 

平成31年1月17日

監事 土屋 達行 

日本臨床検査専門医会

## 2019年度予算とホームページ移設に伴う補正予算

		項 目	2018年度予算	2019年度予算(既報)	2019年度補正予算		
収 入 欄	入 金	会員会費	6,535,000	6,575,000	6,575,000		
		賛助会員会費・寄付金	3,700,000	3,500,000	3,500,000		
		<b>小 計</b>	<b>10,235,000</b>	<b>10,075,000</b>	<b>10,075,000</b>		
	そ の 他	広告収入	400,000	200,000	200,000		
		教育セミナー参加費	400,000	400,000	400,000		
		生涯教育講演会参加費	150,000	200,000	200,000		
		振興セミナー参加費	100,000	60,000	60,000		
		利息	3,000	1,000	1,000		
	<b>小 計</b>	<b>1,053,000</b>	<b>861,000</b>	<b>861,000</b>			
	<b>入 金 合 計</b>			<b>11,288,000</b>	<b>10,936,000</b>	<b>10,936,000</b>	
支 出 欄	庶 務 費	事務所維持費	1,700,000	1,700,000	1,700,000		
		人件費	1,650,000	1,750,000	1,750,000		
		設備費	50,000	50,000	50,000		
		電話・FAX使用料	60,000	60,000	60,000		
		通信費(事務局)	170,000	170,000	170,000		
		事務局雑費	150,000	150,000	150,000		
		<b>小 計</b>	<b>3,780,000</b>	<b>3,880,000</b>	<b>3,880,000</b>		
	事 業 費	印刷代	2,000,000	2,000,000	2,000,000		
		要覧印刷代	500,000	0	0		
		通信費	800,000	800,000	800,000		
		春季大会補助金	500,000	500,000	500,000		
		臨床検査振興セミナー費	850,000	850,000	850,000		
		教育セミナー費	650,000	650,000	650,000		
		会議費	1,000,000	1,000,000	1,000,000		
		交通費	100,000	100,000	100,000		
		宿泊費	30,000	30,000	30,000		
		原稿料	50,000	50,000	50,000		
		専門医ホームページ開発費	0	0	1,738,000		
		専門医ネットワーク移設費用	0	0	91,800		
		専門医初任者維持費	100,000	100,000	100,000		
		HP維持費	170,000	170,000	170,000		
		広報活動費(委員会HP)	50,000	50,000	50,000		
		JCCLS会費	50,000	50,000	50,000		
		WASPALM会費	55,000	55,000	55,000		
		臨床検査振興協議会	300,000	300,000	300,000		
		内保連	200,000	200,000	200,000		
		予備費	103,000	151,000	151,000		
		<b>小 計</b>	<b>7,508,000</b>	<b>7,056,000</b>	<b>8,885,800</b>		
		<b>出 金 合 計</b>			<b>11,288,000</b>	<b>10,936,000</b>	<b>12,765,800</b>
		<b>収 支 決 算</b>			<b>0</b>	<b>0</b>	<b>-1,829,800</b>